

科目名	ストアマネジメントⅡ	整理番号	記入しないで下さい
学科	ファッションビジネス・ストアマネジメント学科	期	通年
コース	ファッションビジネス・ストアマネジメントコース		昼間
学年	2	授業形態	講義:40% 討議:30% 演習:30%
時間数	180	作成者	廣田義信

【科目の到達目標】

即戦力となる販売のプロを育成する。全ての判断が顧客視点ででき、プロの販売職として通じる必要要素を習得する。

【科目の概要】

①講義で知識を得る ②討議で理解を深める ③演習で体現する を反復し、店舗・組織で活用できる実践力を養う。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1～3	■目標設定	46～48 ■洗濯の基礎知識
4～6	■チームワークとは？	49～51 ■販売演習の検証と修正、仮説立案
7～9	■売上構造の理解	52～54 ■お直し
10～12	■店舗利益	55～57 ■販売演習の検証と修正、仮説立案
13～15	■個人情報への取扱い	58～60 ■靴の対応の基本
16～18	■販売演習の検証と修正、仮説立案	61～63 ■販売演習の検証と修正、仮説立案
19～21	■購買心理8段階【注目】	64～66 ■VMDとディスプレイ
22～24	■購買心理8段階【興味】	67～69 ■販売演習の検証と修正、仮説立案
25～27	■購買心理8段階【連想】	70～72 ■カラーコーディネイト
28～30	■販売演習の検証と修正、仮説立案	73～75 ■販売演習の検証と修正、仮説立案
31～33	■購買心理8段階【欲望→比較検討】	76～78 ■パーソナルカラー
34～36	■購買心理8段階【信頼→決定】	79～81 ■体型カバー
37～39	■購買心理8段階【決定→満足】	82～84 ■ラインアナリシス
40～42	■販売演習の検証と修正、仮説立案	85～87 ■お申し出対応
43	■修業テスト(実技、筆記)	88 ■修業テスト(実技、筆記)
44～45	■前期まとめ	89～90 ■期末まとめ

【成績評価方法】

平常評価 40%、提出物評価 30%、試験 30%

出席状況、授業態度(発言・発表、討論など参画意識や協調性)の平常評価と、提出物、試験(筆記、実技)を総合的に評価する。

【教科書・参考書】

オリジナルテキスト『ストアマネジメントコースⅡ』

【教材・教具】

特に指定はしない。授業内で随時紹介する。

科目名	販売演習Ⅱ	整理番号	記入しないで下さい
学科	ファッションビジネス・ストアマネージメント学科	期	通年
コース	ファッションビジネス・ストアマネージメントコース		昼間
学年	2	授業形態	実習 100%
時間数	420	作成者	廣田義信

【科目の到達目標】

即戦力となる販売のプロを育成する。全ての判断基準が顧客視点ででき、プロの販売職として通じる必要要素を習得する。

【科目の概要】

提携先企業の直営店舗で販売演習を行う。実際の店舗でお客様との接点を通じ、顧客視点を知り、販売の知識と技術を習得する。又、店舗のスタッフと協業する事で、卒業後の働く意義や社会とのより良い関係構築のあり方を学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1～210 ※学習内容を 単元・コマ で区切らず 前期および 後期の全 210コマを通 し体得する。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 明るいお出迎え・お見送り ■ 積極的なお声かけ ■ 感じの良い応対 ■ 商品知識 ■ 的確な商品展開 ■ 迅速・的確な商品管理 ■ WGSのマスター ■ コンプライアンス ■ 協調性 ■ 積極性 ■ 顧客目線 ■ 目標達成意識 ■ 誠意あるお客様対応 ■ お客様へのアドバイス ■ VMDの確認 ■ ストックルームの改善 ■ 売上構造の活用 	

【成績評価方法】

平常評価 40%、提出物評価 30%、行動評価 30%
平常評価(出席状況、実習態度など)、提出物、行動評価(実習における知識、技術の習得と発揮具合)による総合評価。

【教科書・参考書】

なし

【教材・教具】

販売演習報告書、その他必要に応じ随時紹介する。

科目名	ファッションビジネス理論と演習Ⅱ	整理番号	記入しないで下さい
学科	ファッションビジネス・ストアマネージメント学科	期	通年
コース	ファッションビジネス・ストアマネージメントコース		昼間
学年	2	授業形態	講義 50 % 実習 50 %
時間数	120	作成者	松下絢子

【科目の到達目標】

「ファッションビジネス理論と演習Ⅰ」にて修得した基礎知識を元に、ファッション産業における商品知識を講義と演習により修得し、ファッションマーケットの情報を収集・分析できる人材の育成。

【科目の概要】

今、日本のファッション産業は国際化が激しくなっており、あらゆる部門で国内だけでなく、国際的な視点を持ってビジネスを進める事の出来る人材がさらに求められている。本教科では、ファッションマーケティング、ファッションマーチャンダイジングやアパレル流通の知識を講義と演習により修得する。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	アパレル企業・ファッション小売企業の事業特性	31	計数管理
2	カフェ運営企画	32	展示物作成
3	ファッションビジネスの変遷	33	計数管理
4	カフェ運営企画	34	展示物作成
5	海外のアパレル産業	35	Adobe Photoshop
6	カフェ運営企画	36	年代別マップ — 40年代
7	海外のアパレル産業	37	Adobe Photoshop
8	カフェ運営企画	38	年代別マップ — 50年代
9	カフェ運営企画	39	Adobe Photoshop
10	カフェ運営企画	40	年代別マップ — 60年代
11	カフェ運営企画	41	Adobe Photoshop
12	カフェ運営企画	42	年代別マップ — 70年代
13	海外のアパレル産業	43	Microsoft Excel
14	カフェ運営企画	44	年代別マップ — 80年代
15	ショッピングセンターの特性	45	Adobe Illustrator
16	ブランドマップ — グッチ	46	年代別マップ — 90年代
17	ファッション消費行動を形成する要素	47	Adobe Illustrator
18	ブランドマップ — ディオール	48	年代別マップ — プレゼンテーション準備
19	近年のライフスタイルの変化	49	卒業プレゼンテーション準備
20	ブランドマップ — シャネル	50	年代別マップ — プレゼンテーション
21	マーケティング	51	卒業プレゼンテーション準備
22	ブランドマップ — バーバリー	52	卒業研究
23	マーケティング	53	Adobe Illustrator
24	ブランドマップ — ルイヴィトン	54	卒業研究
25	期末試験	55	Adobe Illustrator
26	ブランドマップ	56	卒業研究
27	マーチャンダイジング	57	Adobe Illustrator
28	Microsoft Power Point	58	卒業研究
29	マーチャンダイジング	59	修業試験
30	Microsoft Power Point	60	プレゼンテーション

【成績評価方法】

提出物評価60% 期末テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

辞典：ファッションビジネス学会・監督『ファッションビジネス用語辞典訂正版』文化出版局

教①：(財)日本ファッション教育振興会・編『ファッション販売[Ⅰ]訂正版 ファッション販売能力検定試験3級準拠』(財)日本ファッション教育振興会

教②：(財)日本ファッション教育振興会・編『ファッションビジネス[Ⅱ]訂正版 ファッションビジネス能力検定試験2級準拠』(財)日本ファッション教育振興会

【教材・教具】

(株)商業界・月刊誌『ファッション販売』

(財)日本ファッション教育振興会・編『ファッション販売能力検定試験2級項目別試験問題・解答集』

科目名	コーディネート論Ⅱ	整理番号	記入しないで下さい
学科	ファッションビジネス・ストアマネージメント学科	期	後期
コース	ファッションビジネス・ストアマネージメントコース		昼間
学年	2	授業形態	講義 40 % 実習 60 %
時間数	30	作成者	阪田優

【科目の到達目標】

ファッションアドバイザーとして、お客様にご満足頂けるコーディネート提案が出来る基礎知識をつける。

【科目の概要】

講義に基づきプリントワークを行っていく。着色、実際商品のスタイリングコーディネート、リサーチ等の実践的な方法で修得していく。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 コーディネート論Ⅰ 振り返り
- 2 体型カバーのコーディネートⅠ
- 3 体型カバーのコーディネートⅡ
- 4 体型カバーのコーディネートⅢ
- 5 体型カバーのコーディネートⅣ
- 6 トレンドコーディネートⅠ
- 7 トレンドコーディネートⅡ
- 8 コーディネート企画Ⅰ
- 9 コーディネート企画Ⅱ
- 10 コーディネート企画Ⅲ
- 11 コーディネート企画Ⅳ
- 12 コーディネート企画Ⅴ
- 13 コーディネート企画Ⅵ
- 14 コーディネート企画プレゼンテーション
- 15 テスト

【成績評価方法】

課題60% 期末試験30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

『スタイリングブック』 高村是州 グラフィック社 1993年

【教材・教具】

アパレル商品・着色道具・カメラ・ファッション雑誌・のり・ハサミ

科目名	服飾素材論Ⅱ	整理番号	記入しないで下さい
学科	ファッションビジネス・ストアマネージメント学科	期	前期
コース	ファッションビジネス・ストアマネージメントコース		昼間
学年	2	授業形態	講義 100 %
時間数	30	作成者	河本育子

【科目の到達目標】

アパレル商品の取扱い、企画に必要な素材知識の体系的理解を深め、アパレル業界で素材を扱うことのできる人材の育成を目指す。

【科目の概要】

ユニクロのヒートテックに代表されるように、アパレルにおける素材の機能性はますます重要になってきている。繊維ごとにその特性をまとめながら、素材の機能性を理解。またその洗濯・取扱い方法などを修得する。アパレル商品の取扱い、企画に必要な素材知識の体系的理解を深めていく。

【授業計画】

90分/コマ

- | | |
|------|--|
| 第1週 | オリエンテーション
ファッショントレンドと素材・アパレル製品の流通経路 |
| 第2週 | ↓ |
| 第3週 | ■家庭用品品質表示法 品質表示の見方 |
| 第4週 | ■繊維の種類と特性・取扱い方法について
天然繊維・植物繊維(1)綿 |
| 第5週 | 天然繊維・動物繊維(1)毛 |
| 第6週 | 天然繊維・動物繊維(2)絹 |
| 第7週 | 化学繊維(1)再生繊維 |
| 第8週 | 化学繊維(2)半合成繊維 |
| 第9週 | 化学繊維(3)合成繊維 |
| 第10週 | 繊維の特性と取扱方法 まとめ |
| 第11週 | ■繊維に求められる機能と着心地
(生地加工・機能性について) |
| 第12週 | ■生地の種類(織物・編物)について
織物の代表的な組織とその特徴 |
| 第13週 | ■糸の種類と太さ |
| 第14週 | 総復習(テスト傾向と対策) |
| 第15週 | 総合テスト |

【成績評価方法】

課題提出物 60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

- ・一見 輝彦、『わかりやすいアパレル素材の知識』,ファッション教育社, 2012年
- ・田中道一『生地の事典』株式会社みずしま加工 2013年

【教材・教具】

- ・筆記用具

科目名	ビジュアルマーチャンダイジング	整理番号	記入しないで下さい
学科	ファッションビジネス・ストアマネージメント学科	期	前期
コース	ファッションビジネス・ストアマネージメントコース		昼間
学年	2	授業形態	講義 60 % 実習 40 %
時間数	30	作成者	道仲阿子
【科目の到達目標】			
VMDの意義とその効果を理解し、リテールレイアウト計画能力のある人材の育成を目指す。			
【科目の概要】			
MDの視覚的表現や効果を的確に捉え、季節感・TPOなどの状況、またリテールのサイズ等による導線計画を踏まえて、お客様目線から捉えたVMD計画を習得する。□			
【授業計画】			
90分/コマ			
1	VMDとは		
2	売り場づくりの基本		
3	テーブル什器の飾り方		
4	VP計画書の書き方		
5	壁面プランニング		
6	壁面プランニング VPスケッチ		
7	壁面プランニング プレゼン		
8	ボディ・トルソーの歴史 リサーチ		
9	リサーチ結果発表		
10	ライフスタイル提案		
11	ライフスタイル提案 ストーリー		
12	ライフスタイル提案 ストーリーVP計画		
13	店舗診断 分析		
14	店舗診断 改善		
15	期末試験 プレゼン		
【成績評価方法】			
提出物評価30% テスト30% プレゼンテーション20% 授業態度20%			
【教科書・参考書】			
プリントを配布 『ファッション販売2』 日本ファッション教育振興協会 2018年			
【教材・教具】			
筆記用具 色鉛筆			

科目名	ファッション史 I	整理番号	記入しないで下さい
学科	ファッションビジネス・ストアマネージメント学科	期	後期
コース	ファッションビジネス・ストアマネージメントコース		昼間
学年	2	授業形態	講義 80% 実習 20%
時間数	30	作成者	山本廣道

【科目の到達目標】

人類誕生の歴史と同じようにファッションの歴史も存在する。身体を守る機能としての服から、現在のトレンド、流行としての服までを大きく捉え、国の文化の違い、美術、建築、音楽など文化的関連性を学び、デザイン、企画、服作りの基礎を習得する。

【科目の概要】

原始の毛皮から始まり、21世紀の3Dプリンターの可能性を考察する

【授業計画】 90分/コマ

- 1 原始から中世で完成した5大アイテム、フォークロアとKENZO、ISSEY
- 2 古代ギリシャ&ローマ、中世期に完成した女性服、ディズニープリンセス
- 3 後期バロックのロココからアントワネット、新古典の豪華な軍服、ロマンの仕立服と既製の始まり
- 4 オートクチュールと現在の3Dの可能性、シャネルVSディオールの歴代デザイナー
- 5 グローバル化するLVMHのコングロマリットVSファストファッション
- 6 英国産業革命とトラッドの誕生、ヴィクトリア女王とゴシックリバイバル、ダークファンタジー系
- 7 1950年代の英国ストリートファッションの流れ、テッズ、モッズ、ミニスカート
- 8 1960年代の英国ロックシーンの流れ、ビートルズ、ストーンズ、Dボウイ
- 9 1970年代の英国、パンク、ニューロマ、ゴスとアンダークラスのファッション
- 10 1920年代の経済大国アメリカの誕生、黒人JASSスーツ、ハリウッド映画、ディズニー
- 11 1950年代のロックンロールの誕生、ハリウッドセレブの影響
- 12 1960年代のヒッピーカルチャーとアメトラの完成、1968年の五月革命と世界のシンプル化
- 13 1960-70年代の高度経済成長の日本、ジャパトラとKAWAIIカルチャーの完成
- 14 中心から周辺の時代、ギャルソン、マルジェラ、20世紀最後のトレンド、ボディコンシャスから崩壊以降
- 15 テスト

【成績評価方法】

課題評価 60%、 期末試験 30%、 授業態度 10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】